

## ○ 基礎調査結果

### 1. 調査対象地域

調査対象地域は、本市及び鋸南町の全域（以下「本地域」という。）とする。

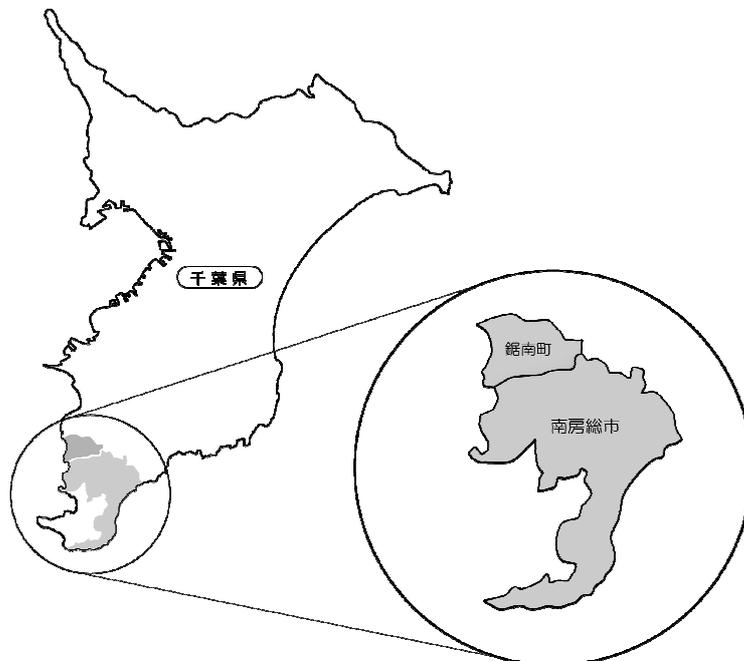


図3-1 調査対象地域図

### 2. 社会経済の状況

表 3-1 のとおり、本地域の総面積は 275.33km<sup>2</sup>、人口は約 5 万人であり、人口集中地区は、南房総市が南房総市役所付近、南房総市役所朝夷行政センター及び千倉漁港付近に、鋸南町が鋸南町役場及び JR 保田駅付近に存在している。

本地域の平成 22 年国勢調査時点での人口分布は、図 3-2 のとおりである。

表3-1 本地域の面積及び人口

(単位：km<sup>2</sup>)

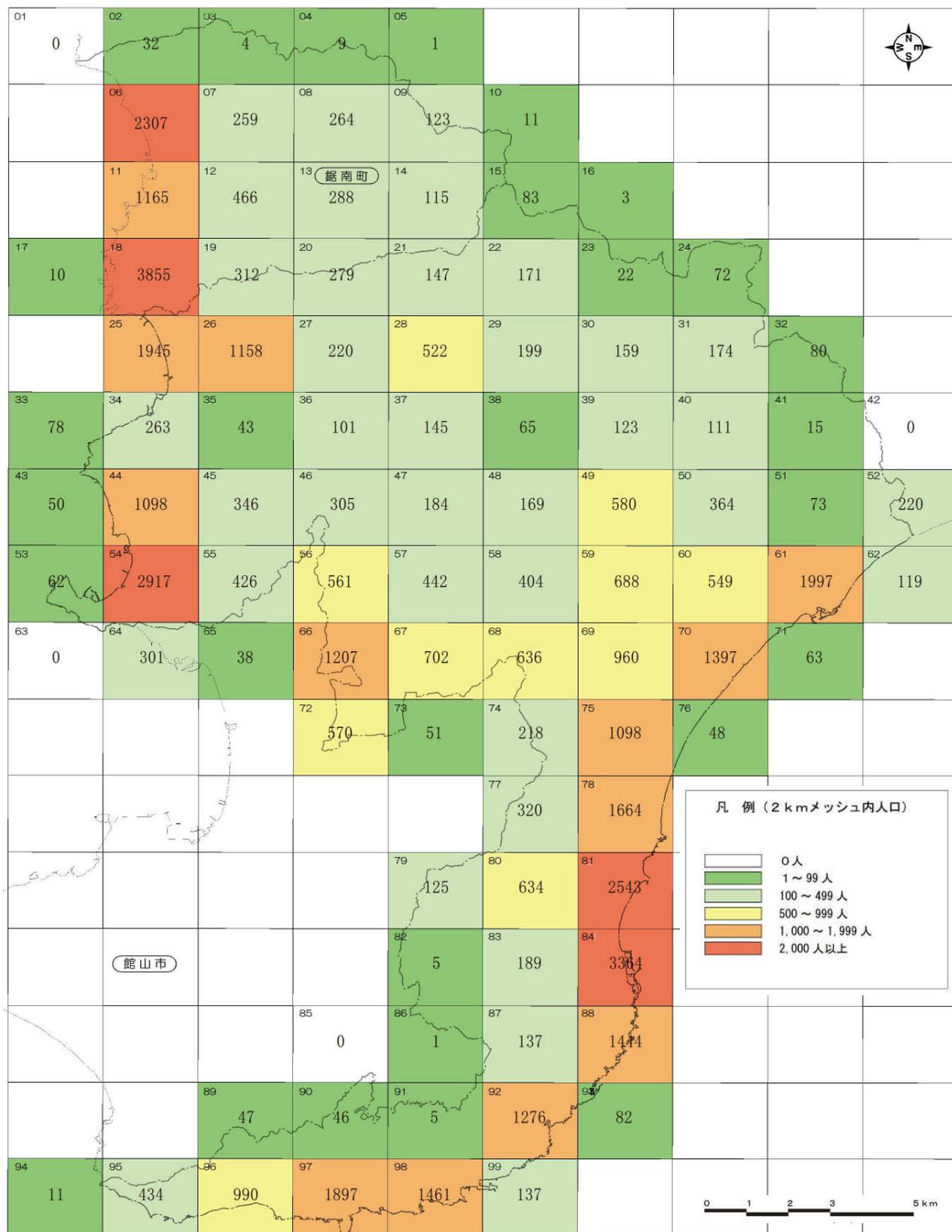
	南房総市	鋸南町	合計
面積	230.14	45.19	275.33

※平成27年全国都道府県市区町村別面積調

(単位：人)

	南房総市	鋸南町	合計
平成23年度	42,321	8,979	51,300
平成24年度	42,027	8,873	50,900
平成25年度	41,405	8,673	50,078
平成26年度	40,776	8,451	49,227
平成27年度	40,073	8,308	48,381

※住民基本台帳人口(各年度3月末日)



参考資料：平成 22 年国勢調査（世界測地系 1km メッシュ人口）

※市界を含む人口については面積比によりメッシュ内人口を算出している。

図3-2 人口分布図（平成 22 年国勢調査）

教育施設数は表 3-2、医療施設数は表 3-3 のとおりである。

表3-2 教育施設の状況

(単位：校)

	南房総市	鋸南町	合計
幼稚園	8	1	9
小学校	8	1	9
中学校	6	1	7
高等学校	1	0	1
計	23	3	26

表3-3 医療施設の状況

(単位：件)

	南房総市	鋸南町	合計
病院	3	1	4
一般診療所	25	6	31
歯科診療所	20	5	25
合計	48	12	60

※千葉県 平成26年衛生統計年報(医療)

### 3. 諸計画の状況

本地域では、表 3-4 のとおり、本市では平成 20 年度を、鋸南町では平成 23 年度を計画初年度とする総合計画を定めている。

表3-4 総合計画の策定状況

	名称	計画期間
南房総市	南房総市総合計画	平成20年度～29年度
鋸南町	鋸南町総合計画	平成23年度～32年度

### 4. 社会基盤整備の状況

道路整備状況としては、本地域内主要国道は西に国道 127 号、東に国道 128 号が延びるとともに、国道 410 号が房総半島の南端海岸線から半島の中央を南北に縦断している。また、本市市道の安房グリーンラインも房総半島の中央を南北に縦断している。さらに、平成 9 年に開通した東京湾アクアラインと平成 19 年に全線開通となった東関東自動車道館山線により東京圏がより身近となった。

鉄道は J R 内房線が通り、南房総市内には 6 つ、鋸南町には 2 つの駅がある。

下水道等の整備状況としては、本地域は下水道及び農業集落排水事業等の整備を実施していない。

本地域の道路交通網図を図 3-1 に示す。

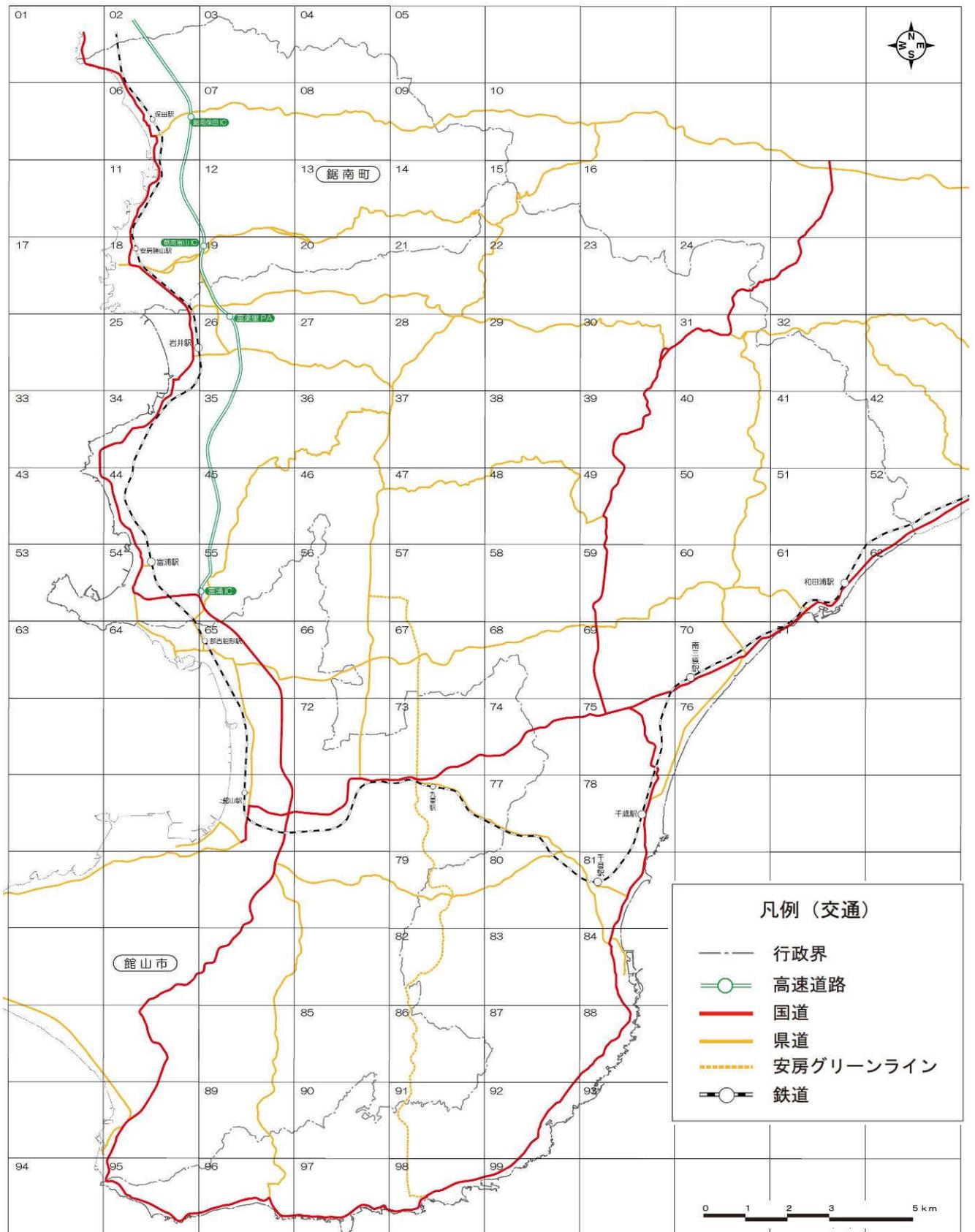


図3-1 道路交通網図

## 5. 土地利用の状況

本地域の土地利用状況は、表 3-5 のとおりであり、南房総市、鋸南町ともに全域が「都市計画区域外」のため、用途地域等の指定はない。

なお、急傾斜の崩壊による災害防止に関する法律に基づいた急傾斜地崩壊危険区域が南房総市で 21 カ所、鋸南町で 10 カ所指定され、土砂災害防止法に基づいた土砂災害警戒区域等の指定区域が南房総市で 103 カ所、鋸南町で 61 カ所指定されている。

表3-5 土地利用の状況

(単位:km<sup>2</sup>)

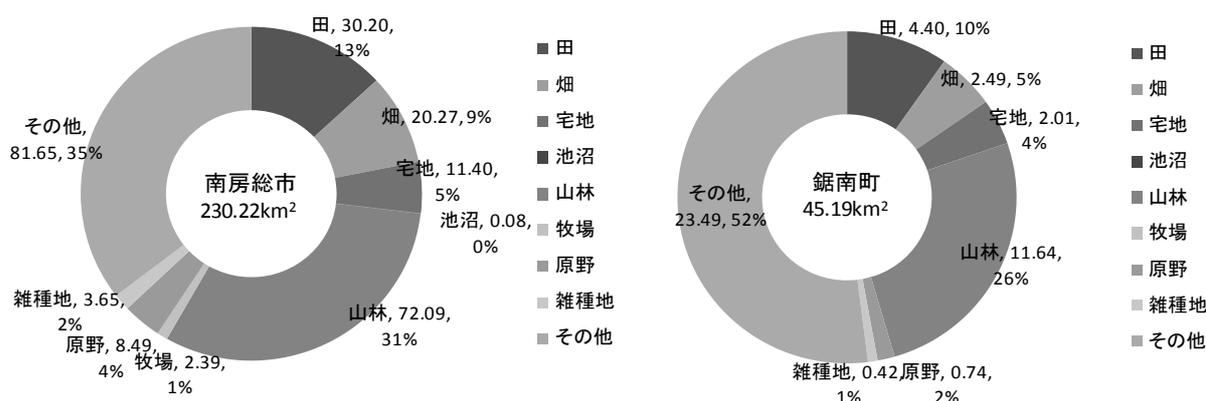
	計	田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他
南房総市	230.22	30.20	20.27	11.40	0.08	72.09	2.39	8.49	3.65	81.65
鋸南町	45.19	4.40	2.49	2.01	0.00	11.64	0.00	0.74	0.42	23.49

※平成27年南房総市統計書、平成27年度鋸南町町勢要覧

※平成26年1月1日現在で土地課税台帳及び土地補充課税台帳に登録された土地の地積に非課税地の地積を加えたものである。

※「その他」とは、地目が墓地、水道用地、保安林、公園等を示す。

※端数処理の関係で計と合わない場合がある。



## 6. 自然条件の状況

本地域は房総半島の南端に位置し、東は太平洋、南は館山市、西は東京湾に面しており、北は鴨川市と富津市に接しており、北側には愛宕山をはじめ、富山等 300m以上の山が連なっている。

3方を海に囲まれた海外線は南房総国立公園に指定されており、また、県立富山自然公園、県立嶺岡山系自然公園が千葉県に自然公園区域として指定されている。

自然環境保全は、千葉県自然環境等保全条例をはじめとする関係法令等に基づき、南房総市には白浜自然環境保全地域、崖地植生自然環境保全地域、高塚山自然環境保全地域の3つの自然環境保全地域と石堂寺の森郷土環境保全地域、小松寺の森郷土環境保全地域の2つの郷土環境保全地域が指定されている。また、活断層を調査した結果については、鴨川低地断層帯として、南房総市の富山地区、丸山地区に鴨川地溝帯南断層が、鋸南町に鴨川地溝帯北断層があるものの、

千葉県の前平成 12 年 11 月発表の調査結果によると活断層である可能性が低いとされている。

## 7. 収集運搬の状況

現在の収集運搬は、表 3-6 のとおり、本市の外房地区では本市で収集運搬を行っており、し尿は直営及び委託で収集し、浄化槽汚泥は直営及び許可業者が収集している。また、本市の内房地区及び鋸南町では、組合で収集運搬を行っており、し尿および浄化槽汚泥は直営で収集している。

なお、新たな施設の完成後は、本市及び鋸南町が収集の主体となる。

表3-6 収集運搬の実施主体

		主体	備考
南房総市	外房地区	南房総市	し尿 : 直営及び委託 浄化槽汚泥 : 直営及び許可
	内房地区	鋸南地区 環境衛生組合	し尿 : 直営 浄化槽汚泥 : 直営
鋸南町			

## 8. し尿及び浄化槽汚泥処理の状況

現在、本地域のし尿及び浄化槽汚泥処理は、本市が運営する「千倉衛生センター」及び組合が運営する「堤ヶ谷クリーンセンター」において実施している。

なお、新たに建設する汚泥再生処理センターは、現在 2 つある施設を一つに集約する形で本市が建設する。鋸南町のし尿及び浄化槽汚泥処理はその施設に処理委託を行うことで対応する。